



2014-2015 年度

国際ロータリー会長 / ゲイリー C. K. ホアン  
2690地区ガバナー / 松本 祐二

会長 / 内田 節夫  
幹事 / 福田磨寿穂

副会長 / 河原 治子  
会計 / 小村 益造

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F  
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816  
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: [office@hirata-rotary.jp](mailto:office@hirata-rotary.jp)

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
10月16日	宇美神社 12:30~	職場訪問例会
10月23日	ホテルほり江 18:30~	5RC 合同例会
10月30日	休会	
11月6日	議長 内田節夫	年次総会

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
44	32	12 (5)	82.05 %	92.31 %

■欠席者

板垣 / 飯塚詔 / 園山 / 土江 / 園 / 榎野 / 三好  
(山根 / 牧野 / 木村 / 遠藤 / 山口)

■来訪者

なし

■メイクアップ

10/15 小村(大社)

\*\*\*\*\*

■次回例会受付当番

(11月6日) 持田稔樹 / 堀江卓男 / 飯塚大幸  
(11月13日) 小村益造 / 飯塚詔夫 / 石原輝男

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

月	出雲中央	10/20	10/27	12/22	12/29(休)	松江南
火	出雲	10/21	10/28	12/9		松江しんじ湖
水	大社	10/22	10/29(休)	11/5		松江
木						松江東 10/23
金	出雲南	10/24	10/31(休)			

■会長挨拶

本日は、職場訪問例会で宇美神社様へお参りました。  
毎年職業奉仕月間には、訪問例会を行って来ておりますが、今回は初めて宇美神社へ参拝し、身も心も清めたいとおもいます。

先日11日(土)は、予定通り「End Polio Now」の活動を商工会議所婦人部主催のくらしよが館に併せ実施し、多くの方に活動をPRし、理解と温かいご協力をいただきました。

なお、次回例会はいよいよ5クラブ合同例会です。  
よろしくお願いします。

■幹事報告

1. 松本ガバナー・右田地区大会実行委員長より地区大会参加のお礼状を頂きました
2. 5RC合同例会について  
次週10/23(木) 18:30~ ホテルほり江に於いて  
欠席の方は今週中に事務局までご連絡下さい
3. 出席・親睦委員会ほか該当の皆様にご案内しておりますが本日例会終了後ホテルほり江におきまして5RC合同例会の打合せを行いますのでよろしくお願い致します。

■スマイル

内田 (本日は宇美神社様お世話になります。よろしくお願いします。)  
飯塚大 (初めて本殿に上がらせて頂きました。)

小江 (河瀬宮司様、正式参拝のご奉仕ありがとうございます。  
またお話し楽しみにしています。今日はよろしくお願い致します。)

■スピーチ・例会行事



職場訪問例会 於)宇美神社

宮司 河瀬 直明 様

今日は平田ロータリークラブ皆様の例会でお参りいただきありがとうございます。宇美神社の由緒について、お話しさせていただきます。

全国に神社は約79,000社、島根県には1,165社、旧平田市に50社、平田町には宇美神社1社です。

出雲国風土記楯縫郡に「宇美社」の記載があります。平田の地は、風土記時代は入海でした。中世は沼地であり徐々に北から西から開拓が始まってきました。近江国から出雲大社の参拝に来て開拓に着目した小村一族とその後の杉原一族が力を合わせて開拓を進めるにあたって、熊野三山から御分霊をいただき、小村・杉原一族の氏神としてこの地に熊野権現社を建てました。その後開拓が進むと一帯住民の氏神へと発展しました。



戦国の安土桃山時代には、熊野権現社のほか、愛宕山の西北にあった宇美神社(「廻大明神」)、愛宕山の東側にあった天満宮、灘分にあった若宮神社、本町筋にあった大歳神社、春日神社、伊勢宮の計7社が点在していました。当時の代官平田屋佐渡守が集合鎮座祭を企画し、天正16年(1588年)熊野権現社1社に合祀されました。

合祀後におこったのが社名の問題です。宇美神社は元々原住民であった長廻一族が奉っていたわけですが、合祀によって1社になってしまったために納得できず、江戸時代には「平田神社」や「平田権現社」、「まこもの宮」との名称記録が残っています。

江戸末期の文化二年(1805年)、宮の町大火の際に社殿が全て炎上し、その後現在の本殿が木佐一族・儀満一族らによって建てられました。

明治5年、熊野神社(または平田神社)から「郷社」宇美神社に改称されましたが、納得のいかない氏子もあり、明治10年に宇美熊野神社へと改称されました。大正9年遷宮立て替えを機に「県社」への嘆願をしたところ、由緒を理由に「宇美神社」がふさわしいと判断され、社名の問題は決着しました。戦後に社格は廃止され、現在に至っています。

安土桃山時代に合祀された天満宮ですが、江戸中期に儀満家が境内に社殿を新造し天満宮を移しました。また御神像(少彦名神)を天満宮に合祀されています。

天満宮には天神さんのおたび・一式飾りがあります。江戸中期の宝暦二年(1752年)、平田町に悪病「ころり」が流行した際、「御神幸すれば悪病は退散する」というお告げを元に、翌年2月25日の例祭日に初めて「おたび」が行われました。当初は悪病が流行した時にだけ行われていたが、毎年の御神幸を訴えていた表具師桔梗屋十兵衛が、その実現に感謝して、また心を慰めようと茶器で大黒天を作ってご神前に奉納したのが、平田一式飾りの始まりです。